ELECOM Logitec

Wireless Broadband Router

IEEE802.11n/11g/11b準拠　無線LANブロードバンドルータ

LAN-WH300N/RE

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「セットアップガイド」とあわせてお読みください。



●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANブロードバンドルータ「LAN-WH300N/RE」を称して「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドルータを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。

●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。

●このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。

●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。

●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。

●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。

●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。

●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

●Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

IEEE802.11n/11g/11b準拠　無線LANブロードバンドルータ

LAN-WH300N/RE

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックのIEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANブロードバンドルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　6409.jp　（http://は必要ありません）

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060
受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00
（祝日営業）※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- 弊社製品の型番
- インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

●11n/g/b規格に準拠、最大300Mbpsの高性能な無線ルータ
IEEE802.11nに準拠し、最大300Mbps（理論値）という高速な無線通信が可能なハイパワー無線ルータです。100BASE-TXに対応したWANポート×1ポートおよび有線LANポートを4ポート装備しています。無線での接続以外に複数の有線LAN機器を直接接続して通信できます。

●Web版「かんたんセットアップツール」でインターネット接続がさらに簡単
PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

●Android専用アプリ「かんたん無線君」をご用意
無線親機に接続するためのAndroid端末専用の設定アプリ「かんたん無線君」をご用意しました。Androidマーケットからダウンロードしていただき、使用することで、簡単にAndroid搭載のスマートフォン/タブレットから本製品にWi-Fi接続できます。

●ボタンひとつで設定が完了する「WPS」を搭載
無線子機との無線接続の設定を簡単にする「WPS」を搭載しています。本製品の前面に装備されたボタンを押すだけで、無線LANの接続設定と暗号化によるセキュリティ設定を完了することができます。

●無線子機を移動しても、切れ目ない通信が可能な「ローミング機能」を搭載
同一LAN上に複数の本製品を設置することで、「ローミング機能」が使えます。「ローミング機能」を使用すると、無線子機が当初接続していた無線親機（本製品）の通信エリア外に移動しても、隣接する別の無線親機に自動的に接続を切り替え、そのまま通信を続けることができます。無線LANの範囲を拡大したり、建物の構造などの影響によるデッドポイントを解消するのに役立ちます。

●電波がよく飛ぶ、外部アンテナを2本搭載
電波が隅々まで届くよう無線LAN用に2本の外部アンテナを搭載。これにより、障害物の影響を軽減し、指向性・利得を向上することに成功しました。

●幅広い暗号化機能に対応
無線LANの暗号化方式には、WPA2-PSK（AES）、WPA-PSK（TKIP）、WEPと幅広く対応し、ご使用の環境のセキュリティレベルに合わせて設定できます。
※本製品はマルチSSIDに対応しておりますが、仕様上SSIDごとにセキュリティ設定を変えることはできません。

●VPNパケットをパススルー可能
VPN接続によるパケットをPPTP、L2TP、IPSecの通信ごとにパススルーの有効/無効を設定できます。

●UPnPに対応
UPnP（Universal Plug & Play）に対応しています。各種メッセージソフトなどUPnP対応のソフトを使用する場合、特別な設定なしに利用可能です。また、UPnP対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。

●その他、多彩なルータ機能を装備
- 「DHCPサーバ機能」を搭載し、パソコン側のIPアドレスの設定が不要
- 簡易サーバの設定に便利な「DMZ」を搭載。ネットワークゲームを安心して利用可能
- ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- 設定値のバックアップが可能
- 設定内容およびアクセスログの保存が可能

●底面に壁掛け用ホールを装備
底面に装備した壁掛穴を使って、壁面などに設置できます。壁面の高い位置に設定することで、パーティションや棚など障害物を避け、安定した無線接続を可能にするほか、すっきりと配置できます。

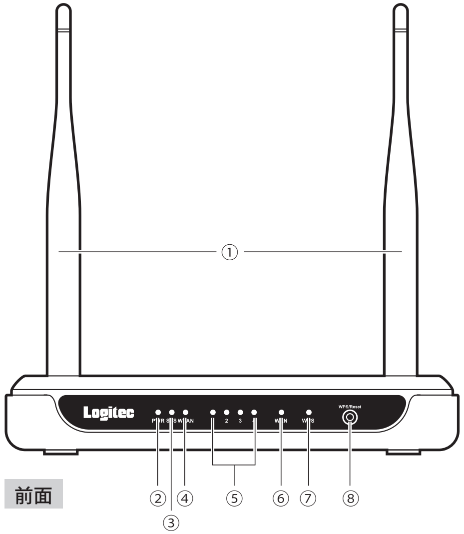
●簡易パッケージで無駄なコストを削減、EU RoHS準拠でエコにも貢献
大量の無線ルータを導入される法人のお客様にとって、豪華なパッケージは不必要なものです。そんな要望にお応えし、印刷をしない段ボールを使ったシンプルなパッケージでご提供いたします。無駄なコストを抑え、エコスタイルを実現します。
その他、EUの「RoHS指令（電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限）」に準拠した、環境にやさしい製品です。

本製品の動作環境

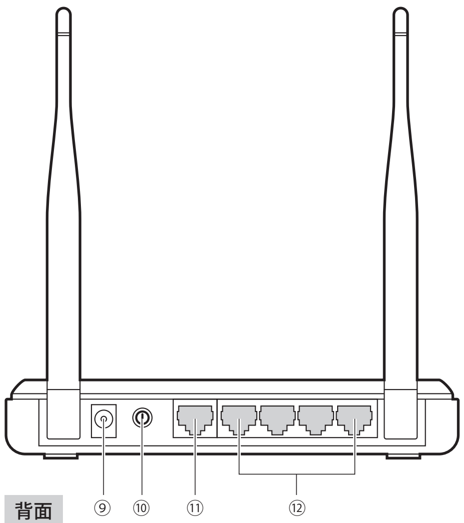
ルータ機能については、TCP/IPプロトコルを利用できるパソコンおよびOSであれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。
また、Webベースの設定ユーティリティを採用していますので、本製品の設定にはWebブラウザが必要です。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista/XP/2000を搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.7/10.6/10.5/10.4）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ （Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 5.5以降

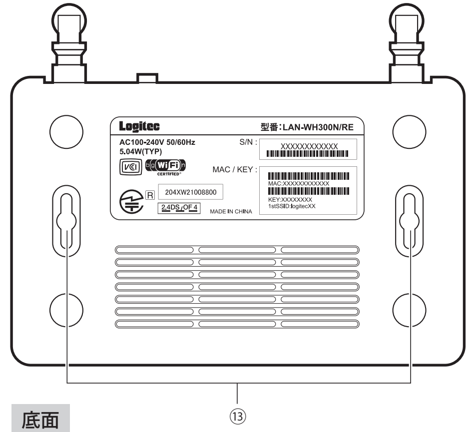
4 各部の名称とはたらき



前面



背面

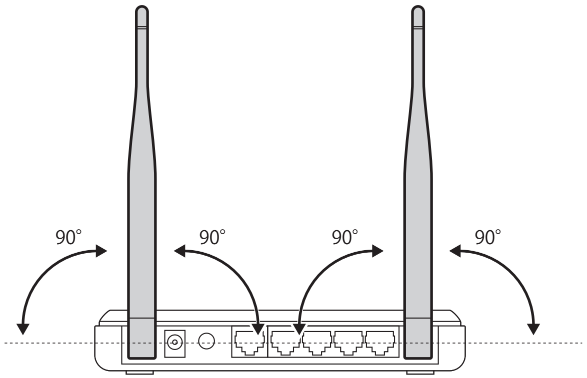


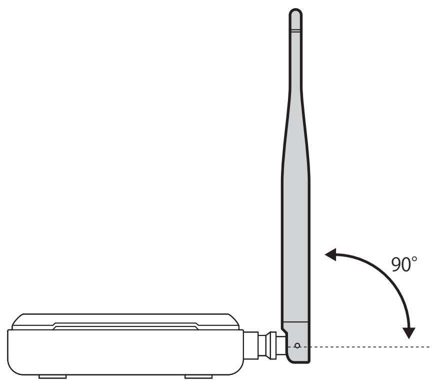
底面

番号	名称	はたらき
①	外部アンテナ	電波をより強く、安定して送受信するためのアンテナです。電波の感度を上げるために角度などを調整できます。可動範囲については、P14「■外部アンテナの可動範囲」をご参照ください。
②	POWERランプ（緑）	点灯：本製品の電源が入った状態です。
③	SYSTEMランプ（緑）	点滅：本製品が正常に動作しています。 点灯/消灯：本製品が正常に動作していません。状態をご確認ください。
④	WLANランプ（緑）	点滅：無線LAN機能を使用中です。
⑤	LAN 1〜4ランプ（緑）	点灯：本製品のLANポートに接続されたパソコンなどのネットワーク機器とのリンクが確立している状態です。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
⑥	WANランプ（緑）	点灯：WAN側とのリンクが確立し、インターネット接続できる状態です。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
⑦	WPSランプ（緑）	ゆっくり点滅：WPSボタンを押してWPS機能を利用している状態です。約2分間点滅します。 すばやく点滅：WPS機能での接続に失敗しました。 点灯：WPS機能での接続に成功しました。
⑧	WPS/Resetボタン	2〜3秒間押して離す（WPS機能を利用する）： WPSランプが緑色に点滅し、WPS機能が働きます。 5秒以上押し続ける（本製品を初期化する）： WLANランプ以外が全て一瞬点灯するまで押し続けてから、離してください。本製品が初期化されます。
⑨	電源ジャック［POWER］	本製品にACアダプタを接続します。本製品に付属以外のACアダプタを接続しないようにしてください。

番号	名称	はたらき
⑩	ON/OFF ボタン	電源をオン/オフする時に使用します。　オフの状態　オンの状態
⑪	WAN ポート（青）	ブロードバンドモデム等のWAN側機器からのLANケーブルを接続します。
⑫	LAN ポート 1～4（黄）	パソコンなどのネットワーク機器を、有線LANで本製品に接続する場合にLANケーブルで接続します。
⑬	壁掛穴	本製品を壁面に取り付けて固定するためのネジ穴です。詳しくはP15「■壁掛けの方法」をご参照ください。

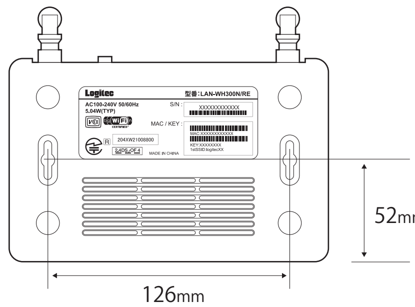
■外部アンテナの可動範囲

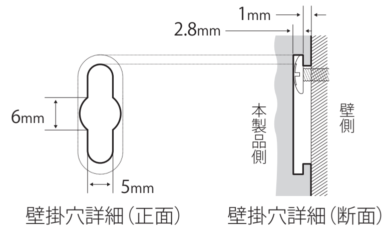




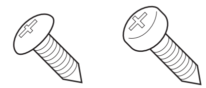
■壁掛けの方法

本製品は横置き、壁掛けの両方に対応しています。横置き/壁掛けいずれの方向で設置する場合も、転落･引き抜け防止措置をとってください。本製品が動作している状態での転落や、コネクタ類の引き抜けは故障・データ消失の原因となります。また、周囲にACコンセントが必要です。





推奨ネジ



JIS規格「M3」サイズのネジを推奨いたします。ネジキリの形状については、設置現場に最適なものをお選びください。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続するか、本製品と無線LANで接続できるようにする必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P44「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。



メニュー項目	内容
ステータス	本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。
かんたんセットアップ	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→P29）
WPS	Wi-Fi（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。（→P48）
ネットワーク	有線LAN、WANの設定をします。LAN（→P50）、WAN（→P51）、MACアドレス複製（→P55）があります。
無線	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。無線設定（→P56）、無線セキュリティ（→P67）、無線MACフィルタリング（→P63）、無線詳細設定（→P65）、無線統計（→P66）があります。
DHCP	DHCPサーバに関する設定をします。DHCP設定（→P77）、DHCPクライアントリスト（→P78）、固定DHCP（→P79）があります。
フォワーディング	DMZ機能およびUPnPのインターネットゲートウェイ機能に関する設定をします。DMZ（→P81）、UPnP（→P82）があります。
セキュリティ	本製品の基本的なセキュリティ機能に関する設定をします。基本セキュリティ（→P83）があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます。QoS設定（→P85）、QoSルールリスト（→P86）があります。
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。時間設定（→P88）、診断（→P89）、ファームウェアアップグレード（→P91）、初期化（→P92）、バックアップと復元（→P93）、再起動（→P94）、パスワード（→P95）、システムログ（→P96）、統計（→P98）があります。

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか？
回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスなどNTT西日本およびNTT東日本のサービスについては、別途プロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？
本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/光ファイバーなどのブロードバンドモデムなどと本製品を接続する必要があります。モデムなどを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムなどをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？
回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？
本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、有線または無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途LANアダプタや無線子機を準備してください。また、無線で接続する場合は、IEEE802.11n/11g/11bいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品のウィザード機能は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。
ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

A PPPoE接続方式の場合

NTTフレッツサービスなど「PPPoE接続」でインターネットに接続するプロバイダの場合は、ユーザーIDとパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID（ユーザ名）【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーIDに「@」が入っている場合は、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダ識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が不要な場合があります。

●フレッツ光プレミアムなど、別途ルータ機能が用意されている場合
プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

●本製品は、IPv6 Bridge機能には対応していません。

●本製品は、PPPoEマルチセッションには対応していません。

B DHCP接続方式の場合

DHCP接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。本製品のウィザードを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C プロバイダから固定IPアドレスが提供されている固定IP方式の場合

インターネット側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）が固定で割り当てられるサービスです。次の内容をお調べのうえ、記入欄にメモしてください。

項目		記入欄
WAN側IPアドレス※1		
WAN側サブネットマスク		
WAN側ゲートウェイ		
DNSサーバアドレス※2	プライマリDNS	
	セカンダリDNS	

※1 グローバルIPアドレスです。　※2 指示がある場合にメモしてください。

Chapter 2

導 入 編

本製品の導入方法について

本製品をモデムなどとつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に添付の別紙「セットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。
「セットアップガイド」の説明書が見つからない場合は、ロジテック ホームページからもダウンロードできます。

1 セットアップの流れ

有線 LAN で接続するパソコンと無線 LAN で接続するパソコンで使う

無線 LAN で接続するパソコンで使う

プロバイダ情報の準備

NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。※1

▼

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

◆無線 LAN で接続するパソコンしか使用しない場合でも、確実にインターネットの接続設定をするために、設定時は有線 LAN でパソコンを接続することをお勧めします※2。

▼

インターネット接続ためのウィザードの実行

本製品の「かんたんセットアップツール」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。必要な作業を「かんたんセットアップツール」が自動的に実行します。
PPPoE 接続（NTT フレッツサービスなど）や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。※1

▼

無線 LAN アダプタのドライバ等のインストール

ご使用になる無線アダプタのドライバや設定ユーティリティを、パソコンにインストールしておきます。※3

▼

無線 LAN 接続の設定

WPS 機能に対応する場合	WPS 機能に対応しない場合
WPS 機能を使って設定します。設定ボタンを押すだけです。※3	無線アダプタ側に、SSID やセキュリティなどを手動で設定します。※3

▼

無線 LAN でのインターネット接続の確認

無線 LAN で接続するパソコンからホームページなどに接続できることを確認します。

これで設定は完了です。

有線 LAN で接続するパソコンだけで使う

プロバイダ情報の準備

NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。※1

▼

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

▼

インターネット接続ためのウィザードの実行

本製品の「かんたんセットアップツール」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。必要な作業を「かんたんセットアップツール」が自動的に実行します。
PPPoE 接続（NTT フレッツサービスなど）や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。※1

これで設定は完了です。

※1　プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

※2　無線LANでしか接続しない場合でも、設定時は本製品の設定ユーティリティに接続するために有線LANに対応したパソコンをご用意ください。

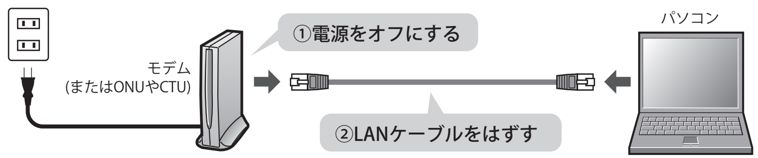
※3　無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

2 本製品を接続する

本製品をブロードバンドモデムなどと接続します。

本製品を接続する

1 すでにインターネットをご利用の場合は、以下の作業をします。

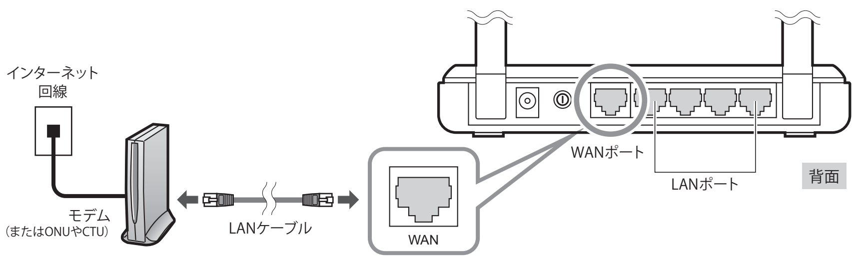


❶ すでにご使用のモデム、ONU（回線終端装置）、CTU（加入者網終端装置）のいずれかがある場合、パソコンと接続したLANケーブルをはずします。

❷ モデム（またはONUやCTU）の電源を切り、LANケーブルを抜いた状態で、1時間以上そのまま置いておきます。
・モデム等に電源スイッチがない場合は、ACプラグを抜きます。

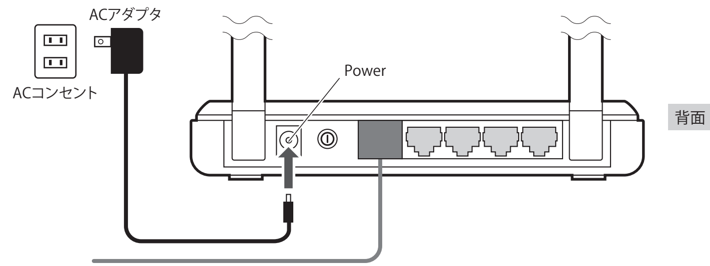
注 意 **モデムの電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。**

2 モデム（またはONUやCTU）のLANポートと本製品のWANポートを、付属のLANケーブルでつなぎます。

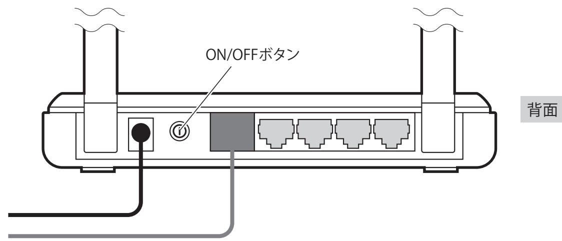


※有線LANポートに接続する機器がある場合は、LANポート1〜4のいずれかとLANケーブルでつないでください。

3 付属のACアダプタと本製品をつなぎ、ACコンセントに差し込みます。

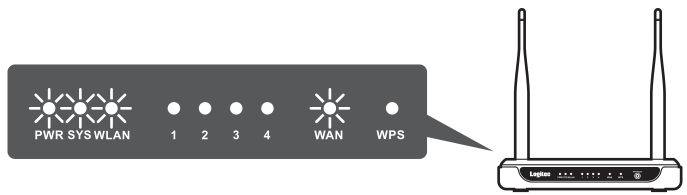


4 壁などにあるインターネット回線に近い機器から、順番に電源を入れます。



• 本製品は背面に電源をオン/オフするON/OFFボタンを装備しています。

5 PWRランプ/SYSランプ/WLANランプ/WANランプが緑色に点灯していることを確認します。



• 本製品は電源を入れた状態から、この点灯状態になるのに約30秒かかります。

6 次ページ「3.ウィザードによるインターネット接続」へ進みます。

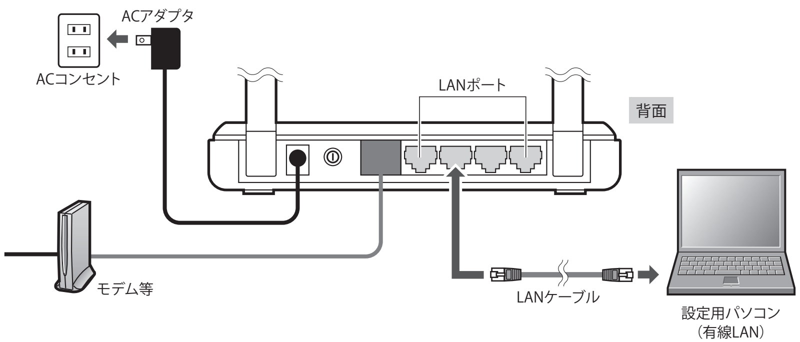
3 ウィザードによるインターネット接続

「セットアップガイド」について
本製品には、紙版のマニュアル「セットアップガイド」が添付されています。本製品に無線LANを使って接続する方法およびインターネットに接続する方法が、簡潔に説明されていますので、通常はそちらをお読みください。

ここでは、無線LANで本製品に接続する前に、有線LAN経由で本製品の設定ユーティリティにアクセスし、ウィザード機能を使ってインターネットに接続する手順を説明しています。本製品へ無線LANで接続する方法については、P34「4.無線LANで接続する」をお読みください。

設定用に有線LANで接続する

インターネット回線への接続設定を確実にするためには、本製品に無線LANで接続する前に、有線LANを使って本製品の設定ユーティリティに接続し、インターネット接続の設定を完了させることをお勧めします。有線LAN機能を持つ設定用パソコンをご用意いただき、以下のように接続してください。



無線LAN経由で設定したい場合は
P34「4.無線LANで接続する」を先にお読みなり、本製品に無線LANで接続できるようになってから、このあとの「設定ユーティリティを表示する」以降をお読みになって、インターネット接続の設定をしてください。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンからWebブラウザを使って表示します。

パソコンはIPアドレスが自動取得になっている必要があります
このマニュアルでは、本製品のDHCPサーバ機能により、パソコンがIPアドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定のIPアドレスを設定している場合は、パソコンのIPアドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品のIPアドレス（初期値）＝192.168.2.1

1 モデム（またはONUやCTUなど）と本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- 順序が逆の場合、パソコン側がIPアドレスを正常に取得できなかったために、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

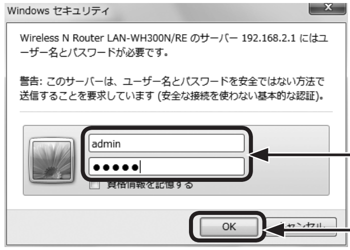
3 Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。



- 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合
以下の順序で確認してみてください。
①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。
②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください（→P103「2.パソコンのIPアドレスの確認方法」）。

4 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。



Windows 7の場合

❶ 入力する

❷ クリック

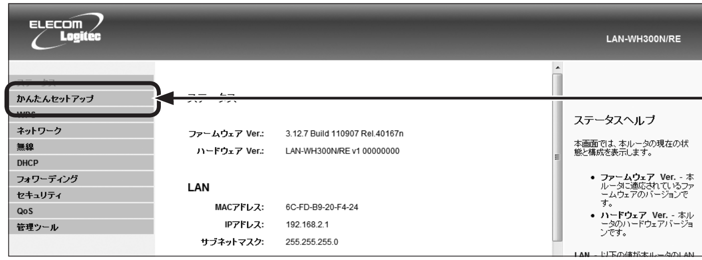
ユーザー名	admin
パスワード	admin

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- 次ページの「ウィザードでセットアップする」へ進みます。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P95「パスワード 画面」）。

ウィザードでセットアップする

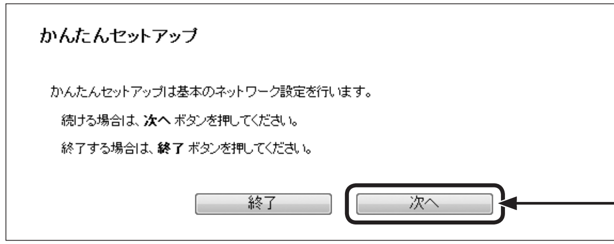
1 ［かんたんセットアップ］をクリックします。



クリック

- 〈かんたんセットアップ〉画面が表示されます。

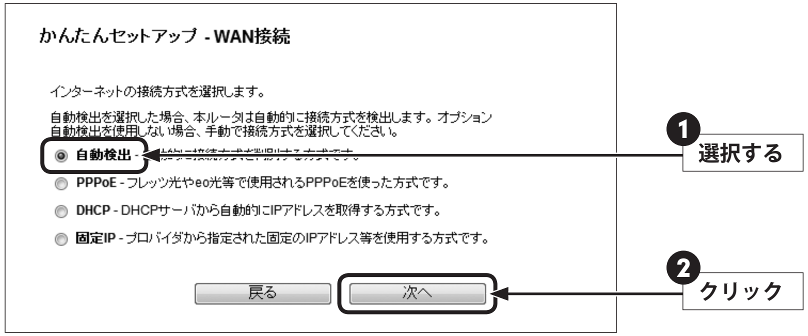
2 次へ をクリックします。



クリック

- 〈かんたんセットアップ ー WAN接続〉画面が表示されます。

3 ［自動検出］を選択し、 次へ をクリックします。



手動で接続方式を選択する場合

この画面で接続方式を手動で選択することができます。ご利用になるプロバイダの接続方式をご確認のうえ、該当項目を選択し、 次へ をクリックします。

PPPoE	PPPoE接続方式の場合（フレッツ ADSL、フレッツ光など）	5a へ
DHCP	プロバイダのDHCPサーバから自動的にWAN側のIPアドレスを取得します。	6 へ
固定IP	プロバイダから指定された固定IPアドレスを使用する場合です。	5b へ

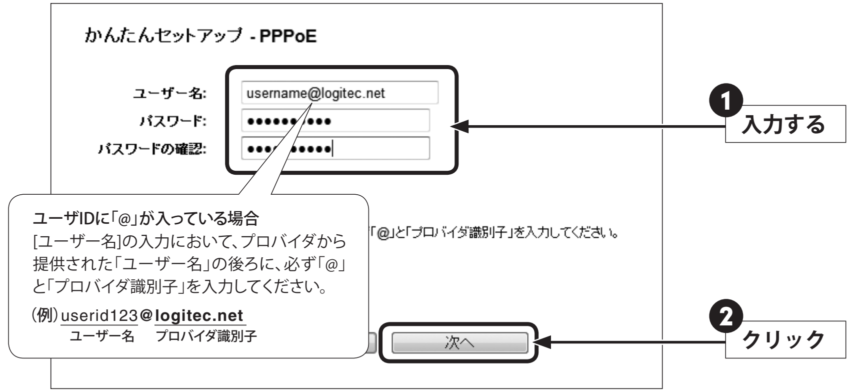
4 表示された画面にあわせて、次の説明へ進みます。

●〈かんたんセットアップ ー PPPoE〉画面が表示された場合
→ 5a へ進みます。

●かんたんセットアップ ー 無線〉画面が表示された場合
→ 6 へ進みます。

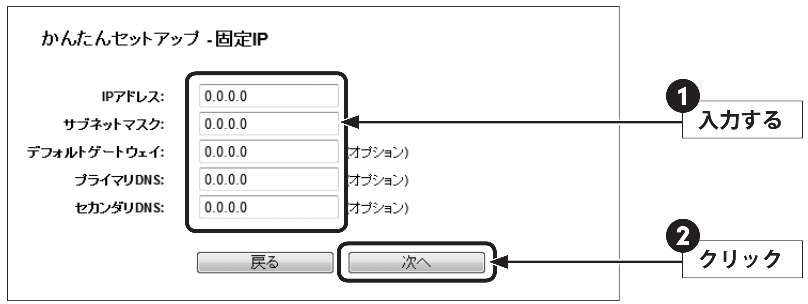
●〈かんたんセットアップ ー 固定IP〉画面が表示された場合
→ 5b へ進みます。

5a P19「設定に必要なプロバイダ情報を用意する」でメモした内容をもとに必要な情報を入力し、 次へ をクリックします。



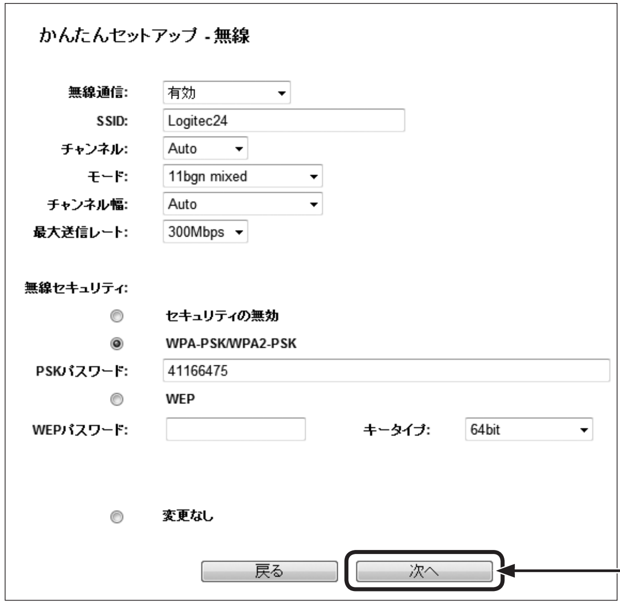
- 手順 6 へ進みます。

5b P19「設定に必要なプロバイダ情報を用意する」でメモした内容をもとに必要な情報を入力し、 次へ をクリックします。



- 手順 6 へ進みます。

6 **無線LANの初期設定を決めます。通常は初期値で問題ありませんので、 次へ をクリックします。**

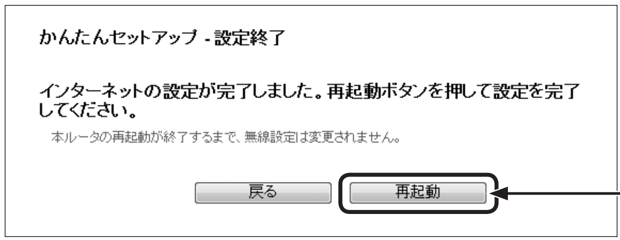


初期値の変更

ご使用になる無線LAN環境によって、SSID、使用する無線LAN規格、セキュリティの種類などを変更した場合があります。そのような場合にここで設定を変更したうえで、WPS機能を使用すると、簡単に無線LAN設定を完了することができます。

この画面の項目の詳細については、P56「無線LANの基本設定」をお読みください。

7 **〈かんたんセットアップ − 設定終了〉画面が表示されます。 再起動 をクリックします。**



8 **確認画面が表示されますので、 OK をクリックします。**



- 本製品が再起動します。

注 意
再起動中は本製品の電源をOFFにしないでください。

9 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**



ロジテック Web サイト　http://www.logitec.co.jp/

4 無線LANで接続する

パソコンから本製品に無線LANで接続できるようにします。

スマートフォンからの接続
iPhoneなどのiOS搭載端末、Android搭載のスマートフォンなどから、本製品に無線LAN接続する手順および、Windowsパソコン内蔵の無線LAN機能、MacのAirMacを使って本製品に無線LANで接続する手順については、紙版マニュアル「セットアップガイド」をお読みください。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。本製品は「プッシュボタン方式」と「PINコード方式」の両方に対応しています。WPS機能に対応していない無線子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線子機側に設定することで接続することができます。

注意　**WDS機能（ブリッジモード）使用時は、WPS機能は利用できません。**

無線子機が WPS 機能に対応していますか？

- **はい、対応しています。**
  - **WPS ボタンを装備していますか？※**
    - **はい、装備しています。** → **次ページの「WPS ボタンを使って接続する」へ進みます。**
    - **いいえ、装備していません。PIN コードに対応しています。** → **P37「PIN コードを入力して接続する」へ進みます。**
- **いいえ、対応していません。**
  - **P40「手動設定で接続する」へ進みます。**

※WPSボタンについて
WPSの「プッシュボタン方式」は、無線子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPSボタンを使って接続する

本製品では、無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を選択した場合、WPS機能を使用することはできません。WPS機能を使用する場合は、WPA-PSKまたはWPA2-PSKを選択してください。（本製品の初期値は「WPA-PSK/WPA2-PSK 自動判別」に設定されています。）

1 **無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**

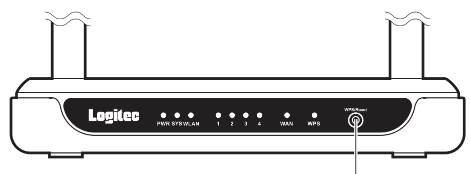
2 **無線子機の説明書をお読みになり、無線子機側が「WPS」設定をできるように準備します。**



弊社製無線子機の画面例

3 **本製品前面にあるWPS/ResetボタンをWPSランプが点滅するまで（約2秒）押します。点滅が始まったら離します。**

注意
●5秒以上押すと、設定が初期化されてしまいますのでご注意ください。
●WPSランプの点滅が始まって2分以内に設定を完了してください。

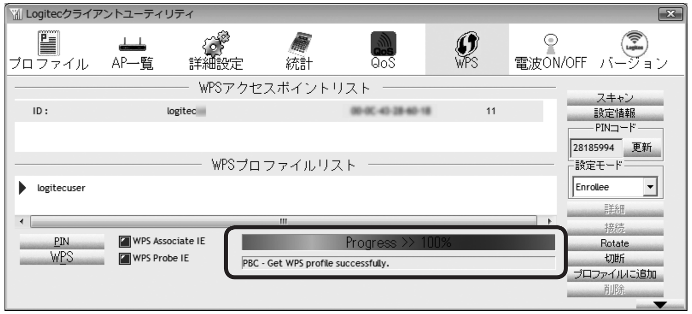


WPS/Reset設定ボタン

4 **無線子機側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。**

- 本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。

5 **無線子機側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。**



弊社製無線アダプタの画面例

- 本製品のWPSランプは消灯します。

6 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**



ロジテック Web サイト　http://www.logitec.co.jp/

7 **これでWPS機能を使った無線子機の設定は完了です。無線子機が他にもある場合は、同じ手順で設定します。**

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。本製品に設定されたPINコードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定されたPINコードを本製品に入力する方法があります。ここでは本製品に設定されたPINコードを無線子機に入力する場合の操作の流れを説明します。

無線子機側のPINコードを本製品に入力する場合
P48「WPS 画面」をお読みになり、本製品の「新しいデバイスの追加」で無線子機側のPINコードを入力して、実行してください。

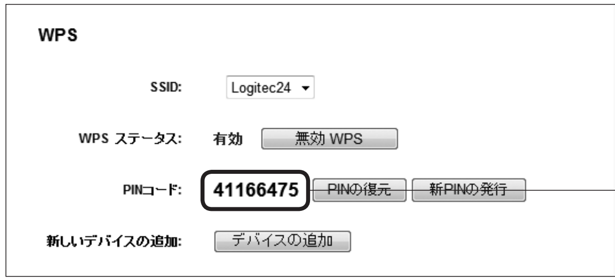
1 **無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**

2 **本製品の設定ユーティリティを表示します。**

- 設定ユーティリティの表示方法については、P27「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

3 **設定ユーティリティで画面左のメニューリストから[WPS]を選択して、設定画面を表示します。**

4 **「PINコード」をメモします。**



PINコード

本製品のPINコード

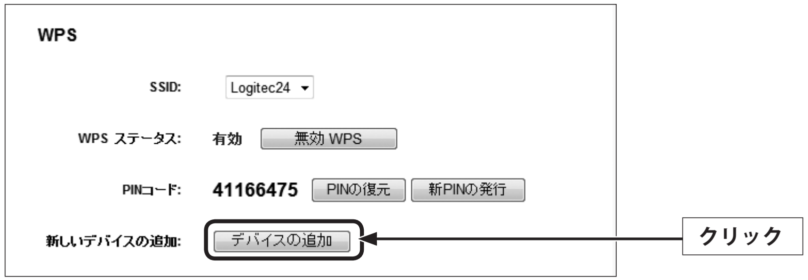
5 **無線子機の説明書をお読みになり、無線子機のPINコードの[設定モード]を「無線親機側のPINコード」に合わせすように設定し、本製品のPINコードを無線子機側に入力します。**



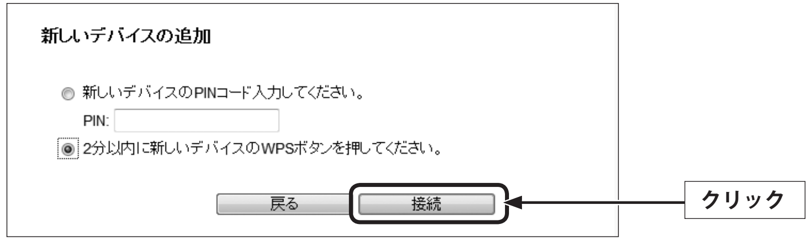
弊社製無線子機の画面例

※実際の無線子機によって項目名などが異なります。ご使用になる無線子機の説明書をお読みください。

6 **「新しいデバイスの追加」にある デバイスの追加 をクリックします。**



7 **「2分以内に新しいデバイスのWPSボタンを押してください。」を選択し、 接続 をクリックします。**



8 **無線子機側でPINコードの受信を実行します。**



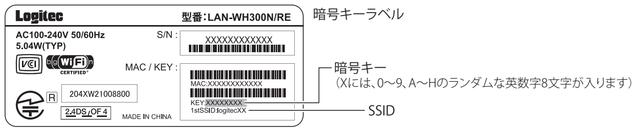
弊社製無線子機の画面例

9 **設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。**

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線子機の場合は、無線子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下の通りです。無線子機の説明書と、下記の作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線子機側に設定してください。

項目	本製品の設定値（初期値）
SSID	logitecXX　※Xは、任意の英数字（0〜9、A〜F）です。
認証方式	WPA/WPA2（自動判別） ※本製品はWPA、WPA2を自動判別できますので、無線子機側ではWPA2-PSK（AES）、WPA-PSK（AES）のどちらを選択することもできます。
暗号化方式	AES
暗号キー	本体底面に貼り付けられた暗号キーラベルに記載されています。 使用されている文字は半角英数字の大文字です。



上記の設定値を利用すれば、本製品の設定ユーティリティを表示せずに、無線子機を手動設定できます。

1 本製品底面の暗号キーラベルにある「SSID」と「暗号キー」をメモします。

SSID＝
暗号キー＝

2 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。

3 無線子機の設定ユーティリティを起動します。

4 設定ユーティリティのリストのSSIDに「logitecXX」と表示された場合は選択します。

- Xには、任意の英数字（0〜9、A〜F）が表示されます。
- SSIDを自動的に検出できない場合は、手動で無線子機の設定ユーティリティにある「SSID」に、本製品のSSIDの設定値（例：logitec42）を半角英数字（小文字）で入力します。

5 無線子機の設定ユーティリティにある［暗号化］に関する設定画面を表示します。

6 無線子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線子機側に設定します。

- 本製品の設定内容は、P40の表を参照してください。
- セキュリティは、WPA2-PSK（AES）、WPA-PSK（AES）のどちらを選択しても、本製品側で自動判別します。

7 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

Chapter 3

詳細設定 編

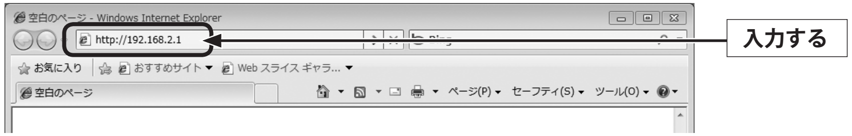
1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



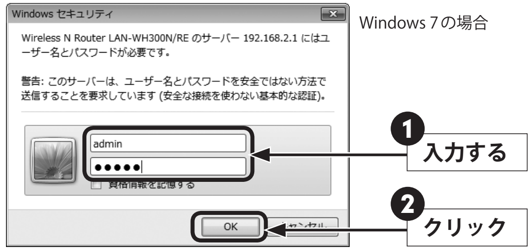
• 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。

Windows 7の場合



ユーザー名	admin
パスワード	admin

• 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
• 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
• このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P95「パスワード 画面」）。

設定ユーティリティ画面の内容

設定ユーティリティにある各画面の概要を説明します。

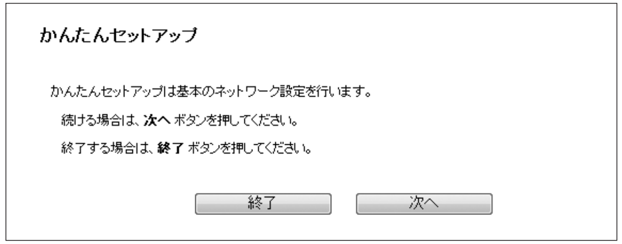


メニュー項目	内容
ステータス	本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。
かんたんセットアップ	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→P29）
WPS	Wi-Fi（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。（→P48）
ネットワーク	有線LAN、WANの設定をします。LAN（→P50）、WAN（→P51）、MACアドレス複製（→P55）があります。
無線	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。無線設定（→P56）、無線セキュリティ（→P67）、無線MACフィルタリング（→P63）、無線詳細設定（→P65）、無線統計（→P66）があります。
DHCP	DHCPサーバに関する設定をします。DHCP設定（→P77）、DHCPクライアントリスト（→P78）、固定DHCP（→P79）があります。
フォワーディング	DMZ機能およびUPnPのインターネットゲートウェイ機能に関する設定をします。DMZ（→P81）、UPnP（→P82）があります。
セキュリティ	本製品の基本的なセキュリティ機能に関する設定をします。基本セキュリティ（→P83）があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます。QoS設定（→P85）、QoSルールリスト（→P86）があります。
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。時間設定（→P88）、診断（→P89）、ファームウェアアップグレード（→P91）、初期化（→P92）、バックアップと復元（→P93）、再起動（→P94）、パスワード（→P95）、システムログ（→P96）、統計（→P98）があります。

2　かんたんセットアップ

インターネットに接続するための必要な設定をおこなう画面です。かんたんセットアップの使い方は、P26「3.ウィザードによるインターネット接続」をお読みください。

画面の表示　**画面左のメニューリストから［かんたんセットアップ］を選択します。**



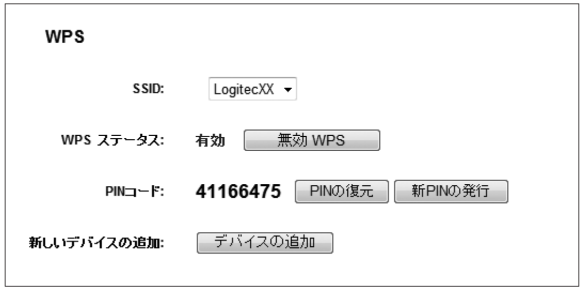
3 WPS メニュー

WPS 画面

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。

本製品では、無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を選択した場合、WPS機能を使用することはできません。WPS機能を使用する場合は、WPA-PSKまたはWPA2-PSKを選択してください。（本製品の初期値は「WPA-PSK/WPA2-PSK 自動判別」に設定されています。）

画面の表示 **画面左のメニューリストから［WPS］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［保存］をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。［保存］をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

SSID	リストからWPSで使用するSSIDを選択します。初期値は「logitecXX」が登録されています。 ※Xは、任意の英数字（0～9、A～F）です。
WPSステータス	現在、WPS機能が有効か無効かを表示しています。 ［有効（無効）WPS］をクリックすることでWPS機能の有効/無効を切り替えることができます。（初期値：有効）

PINコード	本製品の現在のPINコードを表示します。 ［新PINの発行］をクリックすると、新しいPINコードを発行することができます。［PINの復元］をクリックすると、PINコードを初期値に戻します。
新しいデバイスの追加	PINコードによるWPS機能を実行します。また、本製品のPINコードを使用せず、無線子機側のPINコードを使用する場合は、［デバイスの追加］をクリックしたときに表示される画面でPINコードを入力します。手順については、下記の実行手順をご覧ください。

●本製品のPINコードを使う場合の実行手順

❶ 本製品のPINコードをメモします。
❷ 無線子機側にメモしたPINコードを入力します。
※無線子機側の設定手順などは、無線子機のマニュアルをお読みください。
❸ ［デバイスの追加］をクリックします。
❹「2分以内に新しいデバイス・・・」を選択し、［接続］をクリックします。
❺ 無線子機のPINコードによるWPSを実行します（2分以内）。

●無線子機側のPINコードを使う場合の実行手順

❶ 無線子機のPINコードをメモします。
❷ ［デバイスの追加］をクリックします。
❸「新しいデバイスの・・・」を選択し、メモしたPINコードを入力します。
❹ 無線子機のPINコードによるWPSを実行します。
❺ ［接続］をクリックします。

4 ネットワーク メニュー

有線のLANポートおよびWANポートに関する設定などをします。

LAN 画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［ネットワーク］→［LAN］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。保存 をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスです。
IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを設定します。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。 ▼をクリックすると、よく利用されるサブネットマスクなどが表示されます。［他のマスク］を選択すると、手動での入力欄が表示されますので、サブネットマスクを手動で入力します。

WAN 画面

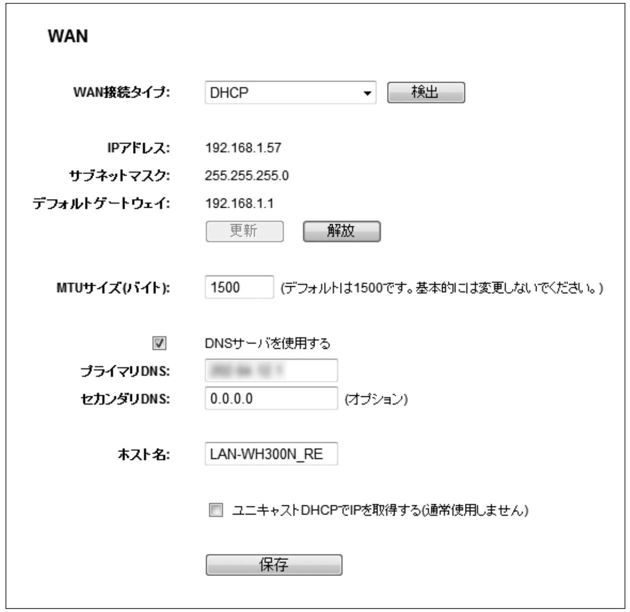
本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。［WAN接続タイプ］で、DHCP・固定IP・PPPoEのいずれを選択しているかで、表示される設定画面が異なります。

［検出］ボタンについて

インターネットを利用できる準備ができている状態で、このボタンをクリックすると、インターネット回線がDHCP・固定IP・PPPoEのいずかの場合に、自動的に回線種別を判別できます。すでにインターネットへの接続設定が完了している場合は、クリックしないでください。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［ネットワーク］→［WAN］を選択します。**

●「DHCP」を選択した場合

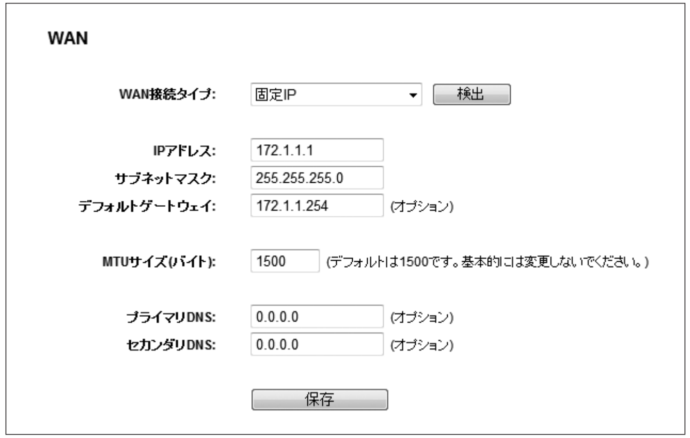


設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。保存 をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

IPアドレス	現在、プロバイダより動的に提供されている各数値が表示されます。
サブネットマスク	更新 をクリックすると、現在のWAN 側のIPアドレスを開放し、再取得します。WAN側のIPアドレスを正しく取得できなかった場合などに使用します。 解放 をクリックすると、WAN側の接続を切断し、WAN側のIPアドレスを開放します。インターネットとは接続していない状態になります。
デフォルトゲートウェイ	
MTUサイズ（バイト）	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1500）
DNSサーバを使用する	プロバイダからDNSサーバを使用するように指示があった場合にチェックします。DNSが1個の場合は「プライマリDNS」に、2個の場合は「プライマリDNS」と「セカンダリDNS」にアドレスを入力します。
プライマリDNS	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
セカンダリDNS	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
ホスト名	ルータのホスト名を設定することできます。
ユニキャストDHCPでIPを取得する	プロバイダによっては、ブロードキャストアプリケーションをサポートしていないことがあります。通常の状態でIPアドレスを取得できない場合のみ、この方法を選択してください。

●「固定IP」を選択した場合

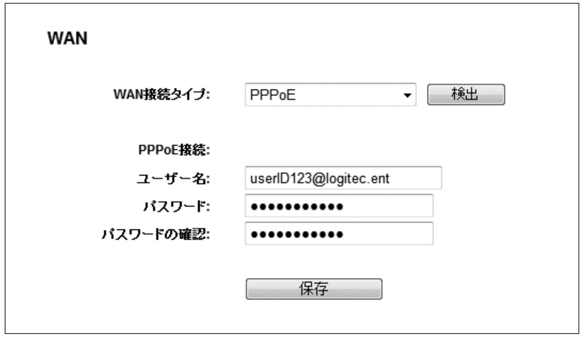


設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。
保存 をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

IPアドレス	プロバイダから提供された固定IPサービス用の数値を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTUサイズ（バイト）	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1500）
プライマリDNS	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
セカンダリDNS	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。

●「PPPoE」を選択した場合



設定を変更した場合

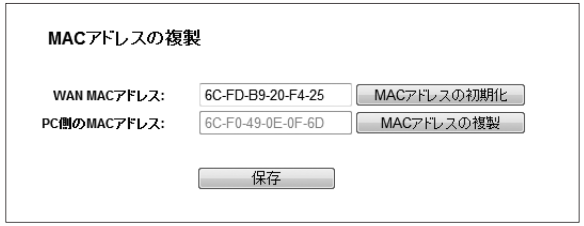
設定を変更した場合は、必ず [保存] をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。[保存] をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、[再起動]画面（→P94）から手動で再起動してください。

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 （例）　userID123 @ logitec.ent ユーザ名　プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
パスワードの確認	[パスワード]で入力したパスワードを再入力します。

MACアドレスの複製 画面

プロバイダのユーザー認証にパソコンのMACアドレスを使用している場合などに利用します。通常はこの機能を使用することはありません。プロバイダから指示がある場合のみ、接続しているパソコンのMACアドレスを登録してください。

画面の表示　**画面左のメニューリストから[ネットワーク]→[MACアドレス複製]を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [保存] をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。[保存] をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、[再起動]画面（→P94）から手動で再起動してください。

WAN MACアドレス	現在のWAN側のMACアドレスが表示されます。 [MACアドレスの初期化] をクリックすると、WAN側のMACアドレスが初期化されます。
PC側のMACアドレス	設定ユーティリティに接続しているパソコンのMACアドレスが表示されます。[MACアドレスの複製] をクリックすると、このMACアドレスがWAN側のMACアドレスとして使用されます。 プロバイダに登録されているMACアドレスを持つパソコンから実行してください。

5 無線 メニュー

本製品の無線LAN機能を設定します。

無線LANの基本設定

無線LANの基本的な機能について設定します。WDSブリッジ機能については、P58「WDSブリッジ機能を使う（ローミング機能）」をお読みください。

画面の表示 **画面左のメニューリストから[無線]→[無線設定]を選択します。**



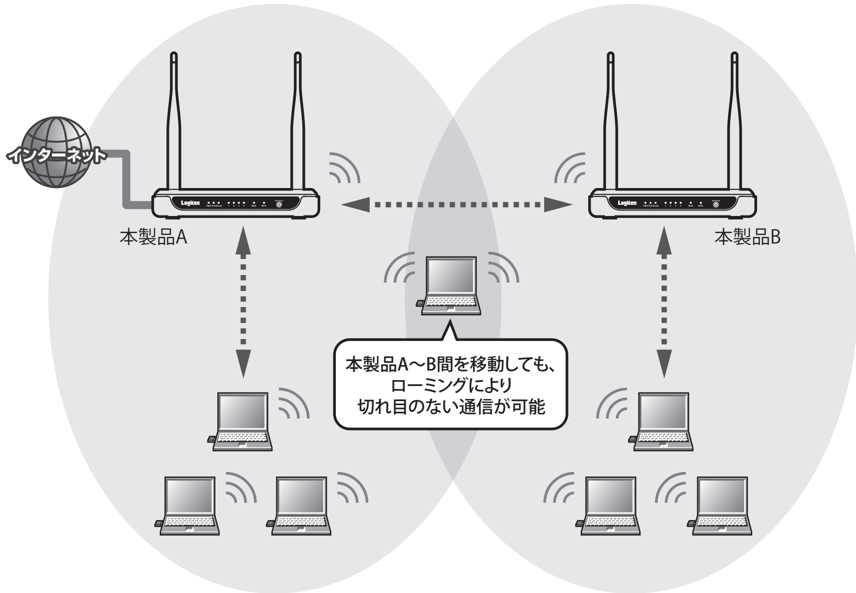
設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［保存］をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。［保存］をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

SSID		無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「logitecXX」が登録されています。 ※Xは、任意の英数字（0～9、A～F）です。
SSID2 SSID3 SSID4		本製品はマルチSSIDに対応し、4つのSSIDを同時に使用することができます。各SSIDの右側の[有効]をチェックすることで、2つ目以降のSSIDを設定可能になります。 （初期値：オフ＝マルチSSIDが無効） ※仕様上、本製品はSSIDごとにセキュリティ設定を変更することはできません。
チャンネル		使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1～13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。 （例）1ch/6ch/11ch ※WDS機能を使用している場合は、［Auto］は選択できません。
モード	11bgn mixed	初期値です。IEEE802.11n/11g/11bの3規格を同時に使用します。
	11b	IEEE802.11b規格だけを使用します。
	11g	IEEE802.11g規格だけを使用します。
	11n	IEEE802.11n規格だけを使用します。
	11bg mixed	IEEE802.11g/11bの2規格を使用します。
チャンネル幅		11n規格でのチャンネル幅を設定します。「Auto」に設定しておくと、通信環境にあわせて自動的に最適なチャンネル幅を使用します。20MHzと40MHzでは、40MHzのほうが伝送速度が速くなりますが、他の無線機器との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。（初期値：Auto）
最大送信レート		最大送信レートを設定します。通常は最大値の「300Mbps」をお勧めします。（初期値：300Mbps）
無線通信の有効		無線LAN機能を使用する場合にチェックします。チェックを外すと、無線LAN機能を使用できなくなり、有線LANでのみの使用になります。（初期値：オン＝無線LANが有効）
SSIDブロードキャストの有効		「有効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「無効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「無効」にします。（初期値：有効）
WDSブリッジの有効		本製品を無線LANの中継器として利用する「WDS機能」が使用できます。詳しくは次ページ「WDSブリッジ機能を使う（ローミング機能）」をお読みください。（初期値：無効）

WDSブリッジ機能を使う（ローミング機能）

本製品を2台用意し、ブリッジ接続することで、相互に通信できます。これにより、切れ目のない無線LAN通信を可能にするローミングを実現したり、無線親機1台では電波の届かないエリアにあるネットワークと接続したりすることができます。



WDSブリッジ機能使用時の設定の注意点

●インターネットへの接続

WDSブリッジ機能で本製品を2台使用する場合、インターネットに接続する本製品は、いずれか1台とし、そちらにのみWAN設定をしてください。

●本製品のIPアドレス設定

本製品に設定されているIPアドレスの初期値は、「192.168.2.1」に設定されています。WDSブリッジ機能を使用する場合は、2台のうちの1台を必ず「192.168.2.2」など、別のIPアドレスを割り当ててください。

●DHCPサーバ機能について

本製品の初期値では、DHCPサーバ機能が「有効」に設定されています。WDSブリッジ機能を使用する場合は、2台のうちの1台を必ず「無効」に設定してください。

●WDSブリッジ機能における本製品同士の通信セキュリティ設定

ブリッジ間のセキュリティ設定は、本製品と無線子機との間のセキュリティ設定とは異なります。別々に設定する必要があります。

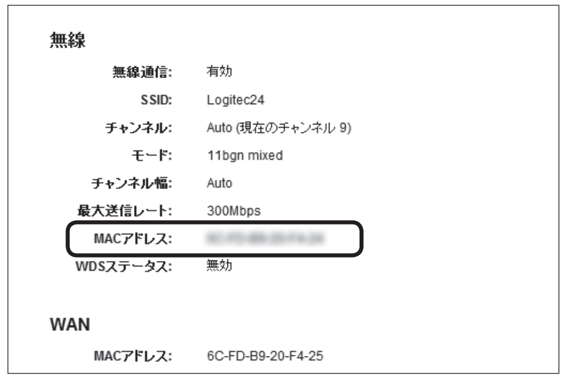
WDSブリッジ機能を設定する

本製品をブリッジ接続します。複数の本製品と相互に通信できます。以下の手順で設定してください。

注意

WDSブリッジ機能を有効にした無線親機同士で、同じSSID、同じチャンネル、同じセキュリティ設定をすると、自動的にローミング機能が有効になります。
いずれかの設定が異なる場合、ローミング機能はご使用になれません。

1 **設定を始める前に、本製品のLAN側MACアドレスを2台ともメモしておきます。**



❶ 画面左のメニューリストから[ステータス]を選択します。
❷〈ステータス〉画面の[無線]にある[MACアドレス]に記載されたアドレスをメモします。

2 **1台目の本製品を設定します。本製品の設定ユーティリティを起動し、画面左のメニューリストから[無線]→[無線設定]を選択します。**

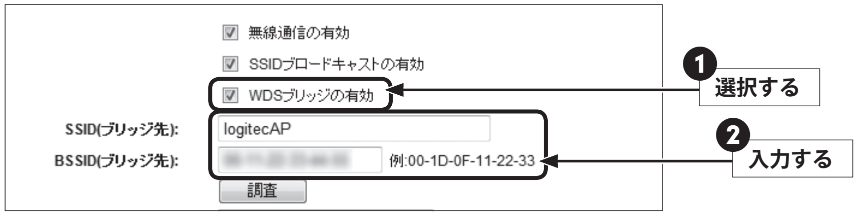
3 ［SSID］から［SSID ブロードキャストの有効］までの項目の設定を済ませておきます。



注意

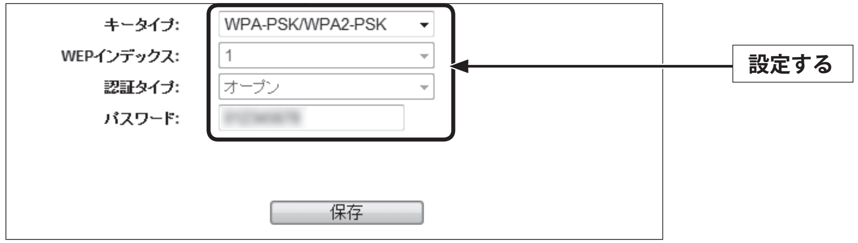
●WDS ブリッジ機能を使用する場合は、［SSID ブロードキャストの有効］を必ずオンにしてください。
●チャンネルは必ず手動設定にし、WDS ブリッジ機能を使用する無線同士で同じチャンネルになるように設定してください。

4 ［WDS ブリッジの有効］をチェックします。WDS 機能の設定に必要な項目が現れますので、相手の SSID と BSSID（LAN 側 MAC アドレス）を設定します。



❶［SSID（ブリッジ先）］に、接続相手に設定する SSID を入力します。
❷［BSSID（ブリッジ先）］に、接続相手の BSSID（LAN 側 MAC アドレス）を入力します。
・ 調査 をクリックすると通信可能範囲にある無線 AP の BSSID と SSID などがリストで表示されます。

5 セキュリティを設定します。



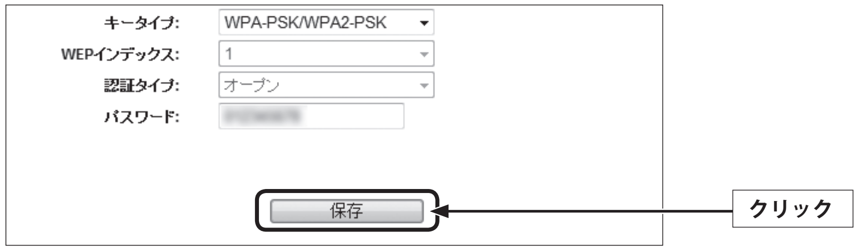
●WEP を使用する場合

- ［キータイプ］で、WEP（ASCII）か WEP（HEX）を選択します。
- WEP インデックスでキー番号（1～4）を選択します。
- 認証タイプでオープンか共有かを選択します。

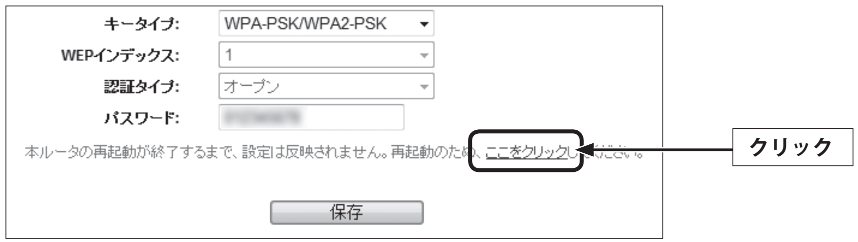
●WPA2-PSK または WPA-PSK を使用する場合

- キータイプで［WPA-PSK/WPA2-PSK］を選択します。
- ［パスワード］を入力します。

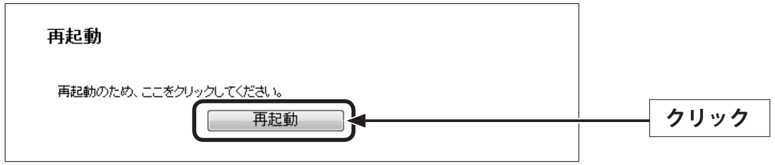
6 すべての設定が終われば、 保存 をクリックします。



7 「ここをクリック」をクリックします。



8 **〈再起動〉画面が表示されますので、本製品を再起動します。**



- これで1台目の設定は完了です。

9 **2台目の本製品の設定ユーティリティを起動し、以下の設定をします。**

●IPアドレスの変更
①画面左メニューから[ネットワーク]→[LAN]を選択します。
②IPアドレスが1台目の本製品と重複しないよう、別のIPアドレスに変更します。
（例）192.168.2.2
③設定を保存します。

●DHCPサーバ機能の無効化
①画面左メニューから[DHCP]→[DHCP設定]を選択します。
②[DHCPサーバ]を[無効]に設定します。
③設定を保存します。

10 **手順 2 〜 8 を参考に、2台目の本製品にWDSブリッジ機能の設定をします。**

- WDSブリッジ機能を使用する無線親機は、同じSSID、同じチャンネル、同じセキュリティを設定する必要があります。

11 **これでWDSブリッジ機能の設定は完了です。それぞれの無線子機同士が正しく通信できるか確認してください。**

無線MACフィルタリング 画面

登録したMACアドレスを持つ無線クライアント（無線子機）とだけ無線LANで通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線クライアントからの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

画面の表示 **左のメニューリストから[無線]→[無線MACフィルタリング]を選択します。**



設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。保存 をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、[再起動]画面（→P94）から手動で再起動してください。

SSID	フィルタリングの対象とするSSIDを選択します。
無線MAC フィルタリング	有効をクリックすると、無線MACフィルタリング機能を使用できます。（初期値：無効）
フィルタリング ルール	リストで有効登録されなかったMACアドレスの通信を拒否する： 〈無線MACフィルタリングの登録〉画面で登録したMACアドレスを持つ無線クライアントとの無線LAN接続を拒否します。 リストで有効登録されなかったMACアドレスの通信を許諾する： 〈無線MACフィルタリングの登録〉画面で登録したMACアドレスを持つ無線クライアントだけが無線LANで接続できます。

●各ボタンの機能

新規追加	クリックすると〈無線MACフィルタリングの登録〉画面が表示されます。
全て有効	リストの無線クライアントの設定をすべて有効にします。
全て無効	リストの無線クライアントの設定をすべて無効にします。
全て解除	リストの無線クライアントの設定をすべて削除します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。
戻る/次へ	リストが複数ページになった場合に、ページを移動することができます。

無線クライアントの登録方法



❶〈無線MACフィルタリング〉画面で必要な設定をします。
❷ 新規追加 をクリックします。
・〈無線MACフィルタリングの登録〉画面が表示されます。
❸ 無線クライアントのMACアドレスを入力します。「-」で区切ってください。
（例）12-34-56-78-90-gh
❹「説明」に無線クライアントを区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❺ MACアドレスを登録した無線クライアントについて、設定を有効にするか、無効にするかを選択します。
❻ 保存 をクリックします。このあとの操作はP63「設定を変更した場合」をお読みください。
❼ 登録する無線クライアントが複数ある場合は、❷〜❻を繰り返します。

無線詳細設定 画面

無線LANの高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線LANに関する十分な知識が必要です。

画面の表示　**画面左のメニューリストから［無線］→［無線詳細設定］を選択します。**



各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。（初期値：高）
ビーコン間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を設定します。（初期値：100）
RTSしきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2346）
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）
DTIMピリオド値	ビーコン間隔に対して、どの程度の割合でDTIMを送信するかを設定します。 例えば、ビーコン間隔が「100ms」でDTIMを「3」に設定した場合は、300ms間隔でDTIMが含まれるビーコンを送信することになります。（初期値：1）
WMMの有効	WMM（Wi-Fi Multimedia）により安定したストリーミング通信をするための帯域を優先的に確保するかを設定します。（初期値：有効）
Short GIの有効	有効にすると、ガードインターバルタイムを縮めてデータ容量を増加させます。（初期値：有効）
AP Isolationの有効	各機器がWLANを通してお互いにアクセスできないようにします。WDSを有効にしている場合はこの機能は無効になります。（初期値：無効）

無線統計 画面

本製品に接続している無線クライアントの情報を表示します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから[無線]→[無線統計]を選択します。**



現在接続されている無線機器の数	本製品に接続している無線クライアントの数を表示します。
MACアドレス	無線クライアントのMACアドレスを表示します。
現在の状態	各無線クライアントの接続状態を表示します。
受信パケット	各無線クライアントが受信したパケット数を表示します。
送信パケット	各無線クライアントが送信したパケット数を表示します。

●各ボタンの機能

再読込	最新の情報に更新します。

6 セキュリティを設定する（無線の暗号化）

無線LANでのデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。 ご利用の無線LAN環境でWPA-PSKまたはWPA2-PSKが使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。 ※本製品では「WEP」を選択した場合、WPS機能を使用することはできません。
WPA-PSK WPA2-PSK	セキュリティ性の高い「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSKとWPA2-PSKが使用できます。暗号化方式には、AESまたはTKIPが選択できます（AES推奨）。 本製品では、［バージョン］を[Auto]に設定することで、無線子機がWPA-PSK/WPA2-PSKのどちらを使っていても対応することができます。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

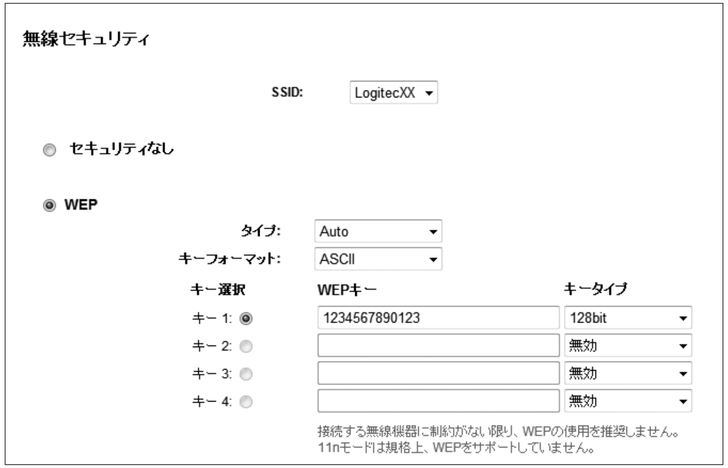
項目	本製品の設定値（初期値）
SSID	logitecXX　※Xは、任意の英数字（0～9、A～F）です。
認証方式	WPAプレシェアードキー
暗号化方式	AES
WPAバージョン	Auto 無線子機側で、WPA-PSKおよびWPA2-PSKのいずれを選択しても対応します。
共有キーフォーマット	パスフレーズ（PSKパスワード） ASCIIの場合は8～63桁、Hexの場合は8～64桁
暗号キー	本体底面に貼り付けられた暗号キーラベルに記載されています。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 暗号キーラベル  KEY記入欄

WEPの設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。なお、ご利用の無線LAN環境でWPA-PSKまたはWPA2-PSKが使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。

画面の表示　**画面左のメニューリストから[無線]→[無線セキュリティ]を選択します。**

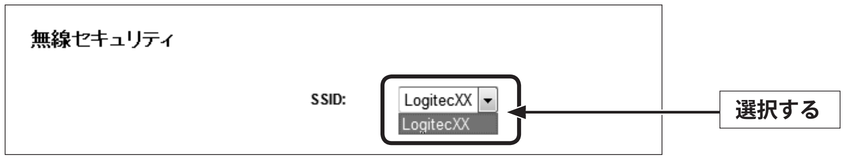
◆WEP選択時の設定画面



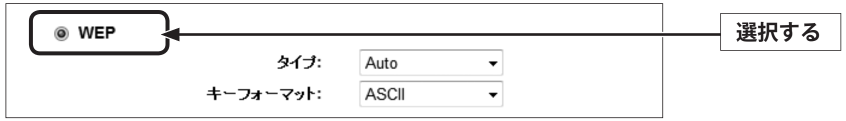
設定の手順

注意　**本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。**

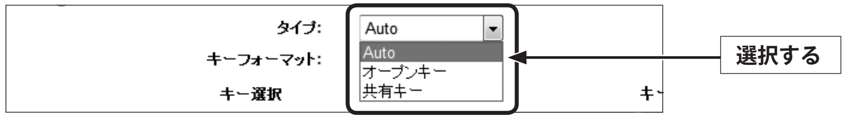
1　[SSID]で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。



2　[WEP]を選択します。

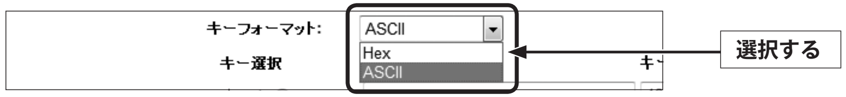


3　[タイプ]で、認証方式を選択します。



• わからない場合は「Auto」を選択します。

4　[キーフォーマット]で暗号化キーの入力形式を選択します。

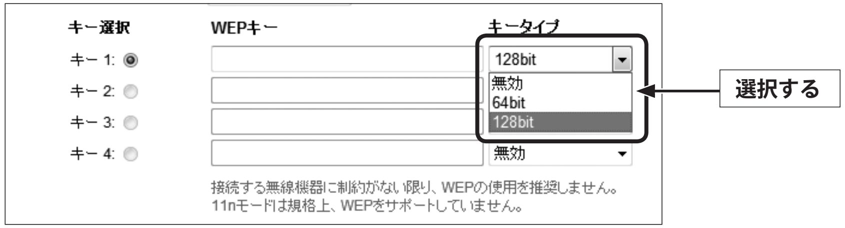


• ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII（5文字）	[キータイプ]で64bitを選択した場合です。 [暗号化キー]に、半角英数字5文字を入力します。
Hex（10文字）	[キータイプ]で64bitを選択した場合です。 [暗号化キー]に、16進数10文字を入力します。
ASCII（13文字）	[キータイプ]で128bitを選択した場合です。 [暗号化キー]に、半角英数字13文字を入力します。
Hex（26文字）	[キータイプ]で128bitを選択した場合です。 [暗号化キー]に、16進数26文字を入力します。

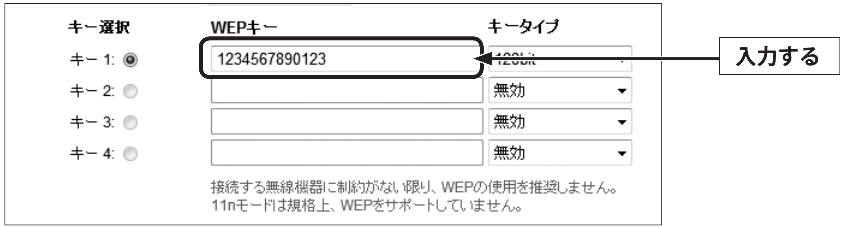
※16進数とは、0～9、a-fを組み合わせた文字列です。

5 ［キータイプ］でセキュリティ強度を選択します。通常は128bitを選択します。



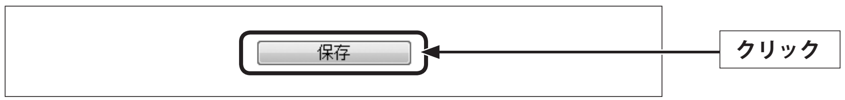
ご使用になる無線子機が64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線子機に1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

6 手順 **5** で選んだ入力形式で、暗号化キーを入力します。



- ASCIIの場合は大文字と小文字が区別されます。Hexの場合は大文字と小文字は区別されません。

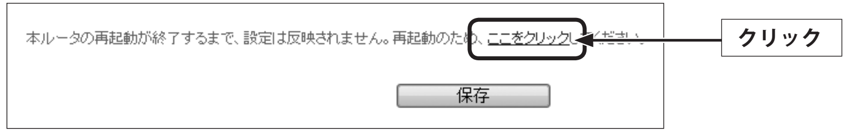
7 すべての設定が終われば［保存］をクリックします。



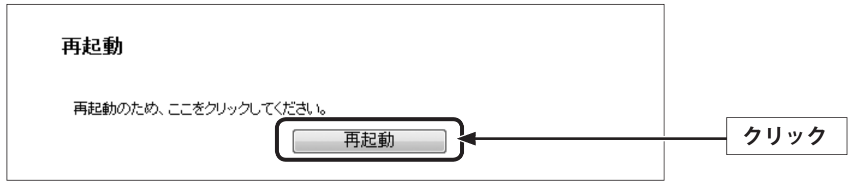
8 以下のダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。



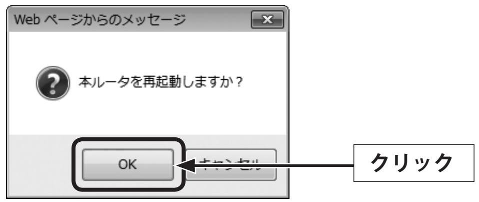
9 赤字でメッセージが表示されます。「ここをクリック」をクリックします。



10 〈再起動〉画面が表示されますので、本製品を再起動します。



11 以下のダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。



12 **「再起動中」と表示され、100%になると自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。**

13 **これで本製品のWEPによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。**

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

WPA-PSK/WPA2-PSKの設定

WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSKおよびWPA-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。

注意 **本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。**

画面の表示 **画面左のメニューリストから［無線］→［無線セキュリティ］を選択します。**

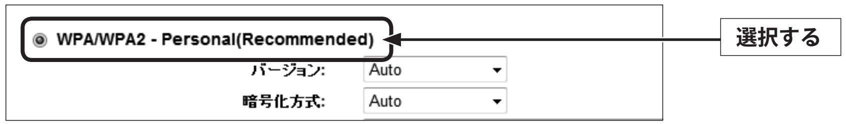
◆WPA-PSK選択時の設定画面



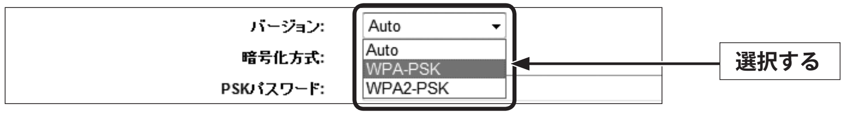
設定の手順

注意 **本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。**

1 **［WPA/WPA2 - Personal（Recommended）］を選択します。**

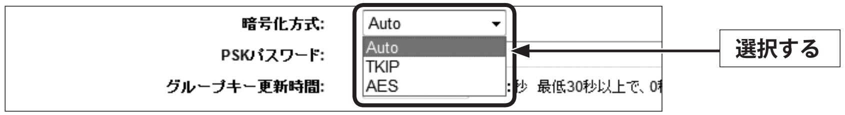


2 [バージョン]で、「Auto」、「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択します。



Auto	無線子機にWPA-PSKとWPA2-PSKが混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。
WPA-PSK	WPA-PSKを使用します。[暗号化方式]には、「AES」を推奨します。
WPA2-PSK	WPA2-PSKを使用します。[暗号化方式]には、「AES」を推奨します。

3 [暗号化方式]で、[Auto]または[AES]を選択します。

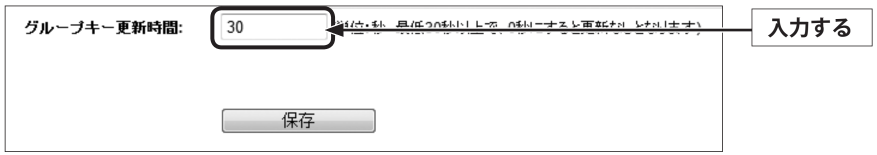


- 「TKIP」の選択も可能ですが「AES」の使用を推奨します。

4 [PSKパスワード]に、共有キーを入力します。

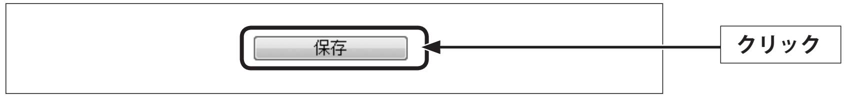


5 パスフレーズを一定間隔で更新した場合は、更新する時間を入力します。



- 通常は「0」のまま、変更する必要はありません。

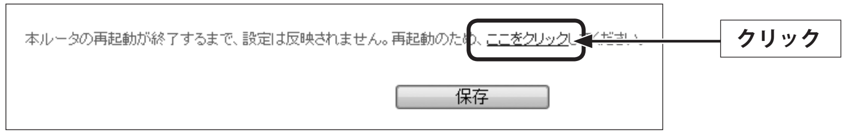
6 すべての設定が終われば 保存 をクリックします。



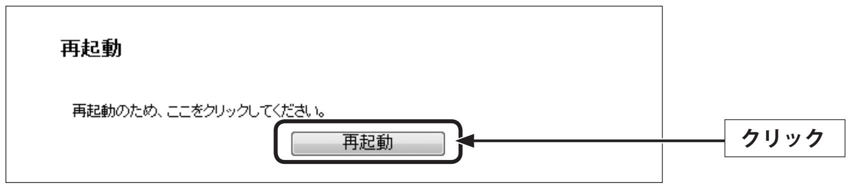
7 以下のダイアログが表示されます。OK をクリックします。



8 赤字でメッセージが表示されます。「ここをクリック」をクリックします。



9 〈再起動〉画面が表示されますので、本製品を再起動します。



10 **以下のダイアログが表示されます。OK をクリックします。**



11 **「再起動中」と表示され、100%になると自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。**

12 **これで本製品のWPAによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。**

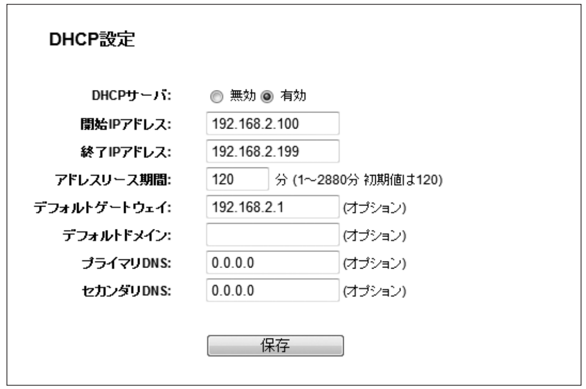
- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

7 DHCP メニュー

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報、DHCPサーバに関する設定をします。

DHCP設定 画面

画面の表示 **画面左のメニューリストから［DHCP］→［DHCP設定］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。
保存 をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

DHCPサーバ	DHCPサーバ機能を利用する場合は［有効］を選択します。IPアドレスを固定にする場合は［無効］を選択します。
開始IPアドレス 終了IPアドレス	DHCPサーバ機能を利用する場合、DHCPサーバがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始IPアドレス～終了IPアドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。

アドレスリース期間	DHCPサーバによりクライアントに割り当てられるIPアドレスのリース時間を設定します。「通常」に設定した場合、クライアントには継続的に同じIPアドレスが割り当てられます。
デフォルトゲートウェイ（オプション）	本製品のLAN側IPアドレスです。
デフォルトドメイン（オプション）	DHCPサーバにドメイン名を与えたい場合に、ドメイン名を入力します。
プライマリDNS（オプション）	プロバイダから提供されたプライマリDNSのIPアドレスを入力します。
セカンダリDNS（オプション）	プロバイダから提供されたセカンダリDNSのIPアドレスを入力します。※プロバイダによっては、セカンダリDNSがない場合があります。

DHCPクライアントリスト 画面

本製品に接続されたDHCPクライアントのリストを表示します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［DHCP］→［DHCPクライアントリスト］を選択します。**

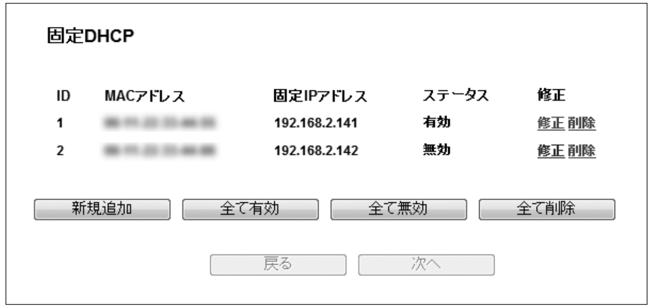


クライアント名	DHCPクライアントの名前を表示します。
MACアドレス	クライアントのMACアドレスを表示します。
IPアドレス	クライアントのIPアドレスを表示します。
リース期間	DHCPサーバより割り当てられたIPアドレスの使用可能な残り時間（リース期間）を表示します。

固定DHCP 画面

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスに固定のIPアドレスを割り当てることで、そのクライアントには、常に同じIPアドレスが割り当てられます。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［DHCP］→［固定DHCP］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。保存 をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

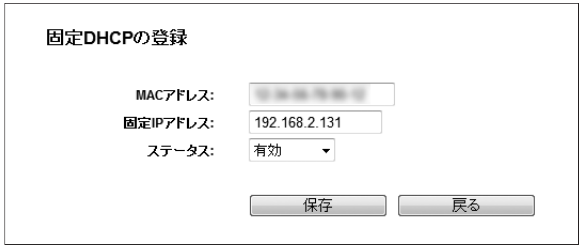
●固定DHCP

固定IPアドレスを割り当てられたクライアントとステータスがリストで表示されます。

●各ボタンの機能

新規追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。
全て有効	リストに表示されたクライアントのステータスをすべて有効にします。個別に修正する場合は、［修正］欄の「修正」をクリックして修正します。
全て無効	リストに表示されたクライアントのステータスをすべて無効にします。個別に修正する場合は、［修正］欄の「修正」をクリックして修正します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。個別に削除する場合は、［修正］欄の「削除」をクリックして削除します。
戻る/次へ	リストが複数ページになった場合に、ページを移動することができます。

クライアントのIPアドレスを固定する設定方法



❶〈固定DHCP〉画面で、［新規追加］をクリックします。
・〈固定DHCPの登録〉画面が表示されます。
❷［MACアドレス］にクライアントのMACアドレスを入力します。「-」で区切る必要があります。
例 12-34-56-78-90-12
❸［固定IPアドレス］にクライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例192.168.2.131
❹［ステータス］で、設定の有効/無効を選択します。
❺［保存］をクリックすると「この機能は本ルータを再起動するまで反映されません。」と表示されますので［OK］をクリックします。
・〈固定DHCP〉画面で、設定した内容がリストに表示されます。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［保存］をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。［保存］をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

8 フォワーディング メニュー

DMZ機能およびUPnP機能の有効/無効を設定します。

DMZ画面

通常、NAT変換を利用するルータでは、WAN側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定したコンピュータにWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用するなどWAN側からパソコンにアクセスできるようになります。

●DMZをご使用になる場合の注意

DMZ機能を使用すると、WANからLAN上のパソコンなどのクライアントにアクセスできるようになります。クライアントのWAN側への開放には、セキュリティ等十分にご注意ください。

●IPアドレスについてのご注意

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P79「固定DHCP 画面」で、DMZの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。

画面の表示　**画面左のメニューリストから［フォワーディング］→［DMZ］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [保存] をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。[保存] をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、[再起動]画面（→P94）から手動で再起動してください。

現在のDMZステータス	DMZ機能を使用する場合は「有効」をチェックします。
DMZホストIPアドレス	WAN側に公開するパソコン等のクライアントのIPアドレスを指定します。「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

UPnP 画面

UPnP（Universal Plug and Play）機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［フォワーディング］→［UPnP］を選択します。**



●UPnP

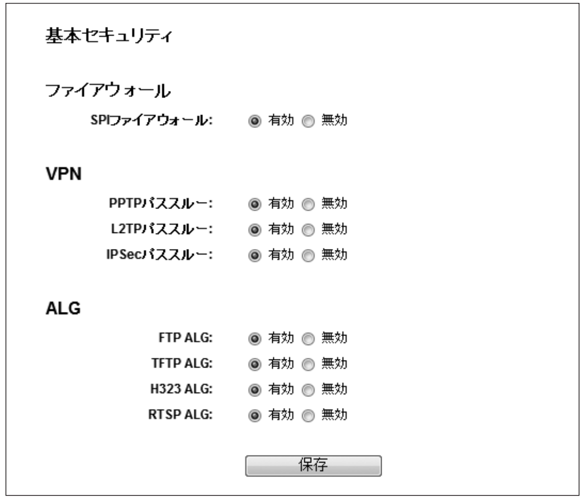
ステータス	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：有効）

9 セキュリティ メニュー

ファイアウォール、VPN、ALGの機能について、有効/無効を設定できます。初期値はすべて有効になっています。通常はそのまま変更の必要はありません。

基本セキュリティ 画面

画面の表示 **画面左のメニューリストから［セキュリティ］→［基本セキュリティ］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [保存] をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。[保存] をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、[再起動]画面（→P94）から手動で再起動してください。

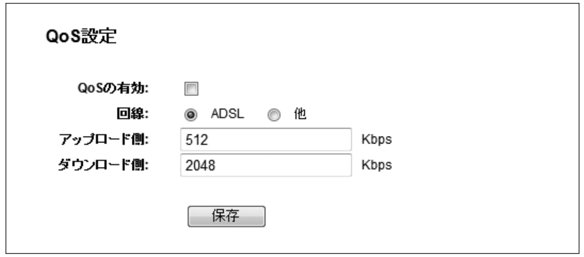
ファイアウォール	本製品では、パケットを監視し、通過させるべきパケットであるかを判断する「SPIファイアウォール」の有効/無効を選択できます。
VPN	本製品でVPNパケットを通過させたい場合に有効にする必要があります。「PPTPパススルー」、「L2TPパススルー」、「IPSecパススルー」に分けて設定できます。
ALG	NAT機能を利用する環境下では、一部のアプリケーションやサービスについて、NAT上でサポートできるようにあらかじめ指定しておく必要があります。 ・FTP ALG（FTPクライアントとサーバでのデータ通信） ・TFTP ALG（TFTPクライアントとサーバでのデータ通信） ・H323 ALG（Microsoft NetMeetingのクライアントとの通信） ・RTSP ALG（メディアプレーヤーのクライアントとの通信）

10 QoS メニュー

QoS（Quality of Service）は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときに有効です。

QoS設定 画面

画面の表示 **画面左のメニューリストから［QoS］→［QoS設定］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず ［保存］ をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。［保存］ をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

QoSの有効	QoS機能を使用する場合はチェックします。
回線	ADSLかその他の回線かを選択します。
アップロード側	アップロード速度を手動で設定します。（初期値：512）
ダウンロード側	ダウンロード速度を手動で設定します。（初期値：2048）

QoSルールリスト 画面

QoSルールの登録ができます。登録したルールは、一覧表示されます。

画面左のメニューリストから［QoS］→［QoSルールリスト］を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［保存］をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。［保存］をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面（→P94）から手動で再起動してください。

●各ボタンの機能

新規追加	このボタンをクリックすると、新しいルールを登録する画面が表示されます。
全て削除	リストのルールの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。
戻る / 次へ	リストが複数ページになった場合に、ページを移動することができます。
ページ	リストが複数ページになった場合に、指定したページへジャンプすることができます。

ルールの作成方法



❶〈QoSルールリスト〉画面で［新規追加］をチェックします。
・〈QoSルール設定〉画面が表示されます。
❷［有効］をチェックし、ルールの内容を設定します。項目の内容については、以下の一覧を参照してください。
❸ 設定が終われば、［保存］をクリックします。
・〈QoSルール設定〉画面で、設定した内容がリストに表示されます。
❹ 登録するルールが複数ある場合は、❶～❸を繰り返します。

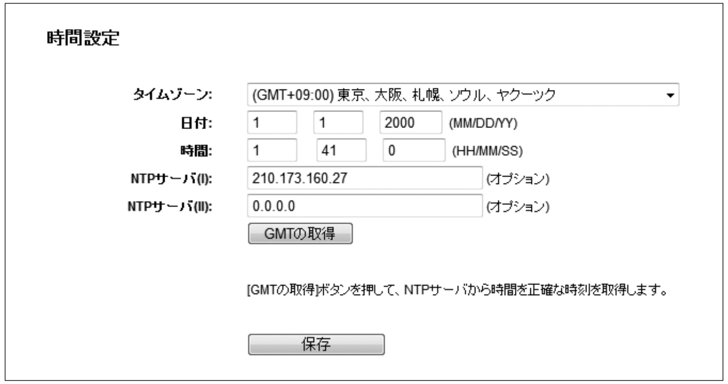
有効	QoS機能を使用する場合はチェックします。
IP レンジ	このルールを適用するクライアントのIPアドレス範囲を入力します。 対象が1台の場合は、左右に同じIPアドレスを入力します。
ポートレンジ	外部の機器にアクセスする内部の機器のポート番号の範囲を指定します。空白か、もしくは0が入力されているとき、そのドメインは無効です。
プロトコル	設定をおこないたいトランスポートプロトコルを選択します。（初期値：全て）
アップロード側	アップロード速度の最高値と最低値を設定します。（初期値：0）
ダウンロード側	ダウンロード速度の最高値と最低値を設定します。（初期値：0）

11 管理ツール メニュー

時間設定 画面

本製品の日時を設定します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［時間設定］を選択します。**



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［保存］をクリックして設定を保存してください。再起動を促すメッセージなどが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。［保存］をクリックしたあとメッセージが表示されなかった場合でも、設定した内容の通りに動作しないときは、［再起動］画面(→P94)から手動で再起動してください。

タイムゾーン	本製品が使用する標準時を設定します。（初期値：(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク）
日付	日時を手動設定する場合に、現在の日付を入力します。
時間	日時を手動設定する場合に、現在の時間を入力します。
NTPサーバ(I)	本製品の時刻を自動で取得する場合に使用するタイムサーバのアドレスを指定します。（初期値：210.173.160.27） (I)(II)の両方を指定した場合、(I)が優先されます。
NTPサーバ(II)	本製品の時刻を自動で取得する場合に使用するタイムサーバのアドレスを指定します。（初期値：0.0.0.0）

●各ボタンの機能

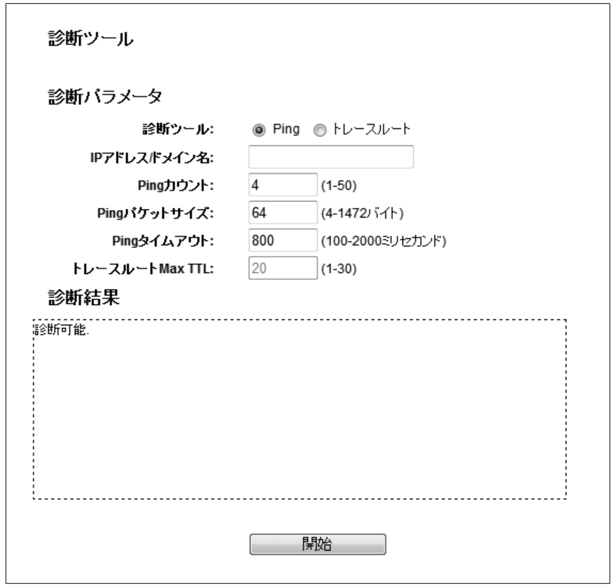
GMTの取得	インターネットに接続できる状態で、このボタンをクリックすると、NTPサーバより正確な時刻を取得し、本製品の時間設定に反映することができます。

診断 画面

ネットワークの状態を確認することができます。

注意 **診断ツールは同時に複数のユーザーで使用することはできません。**

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［診断］を選択します。**



●診断パラメータ

診断ツール	診断にPingを使用するか、トレースルートを使用するか選択します。
IPアドレス/ドメイン名	診断に使用するパソコンのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。
Pingカウント	Pingのカウント数を設定します。（初期値：4）
Pingパケットサイズ	Pingで送信するパケットサイズを入力します。（初期値：64）
Pingタイムアウト	Pingでタイムアウトとする時間をミリセカンドで入力します。（初期値：800）
トレースルートMax TTL	最大ホップ数を入力します。（初期値：20）

ファームウェアアップグレード 画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、ロジテック・ホームページのサポートページよりダウンロードできます。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［ファームウェアアップグレード］を選択します。**



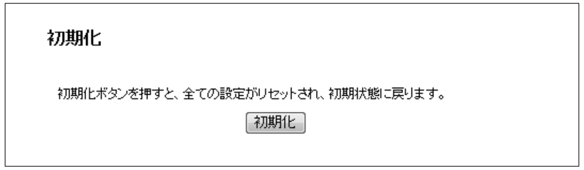
ファームウェアのアップグレード手順

❶ ロジテック・ホームページからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
❷ 参照 をクリックします。
❸〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
❹ アップグレード をクリックします。
※アップグレード中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。
❺ アップグレードが完了すると、再起動します。進行状況をグラフで表示した後、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

初期化 画面

本製品の設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください（→P93「バックアップと復元 画面」）。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［初期化］を選択します。**



❶［初期化］をクリックします。
❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので OK をクリックします。
❸ 初期化が完了すると、再起動します。進行状況をグラフで表示した後、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

バックアップと復元 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存し、バックアップできます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［バックアップと復元］を選択します。**



設定の保存方法

❶ バックアップ をクリックします
❷〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、保存 をクリックします。
❸〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、保存 をクリックします。指定した場所に「config.bin」ファイルが保存されます。
❹「ダウンロードが完了しました」と表示されますので、閉じる をクリックします。〈バックアップと復元〉画面に戻ります。

設定の復元方法

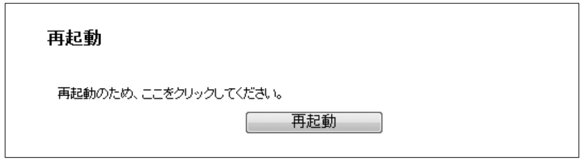


❶［ファイル］の 参照 をクリックし、バックアップファイルを指定します。
❷ 復元 をクリックします。
❸ ファイルの読み込みを確認する画面が表示されますので、OK をクリックします。
❹ 復元が完了すると、再起動します。進行状況をグラフで表示した後、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

再起動 画面

本製品の動作が不安定になった場合など、システムを再起動したい場合に使用します。
なお、設定を変更中に、この画面から再起動しても変更した内容は反映されません。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［再起動］を選択します。**



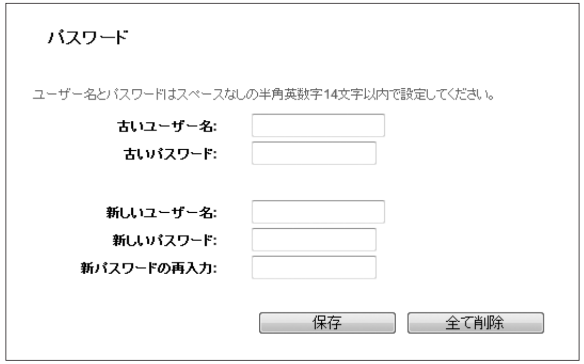
再起動の手順

❶ 再起動 をクリックします
❷ 再起動を確認する画面が表示されますので、 OK をクリックします。
❸ 再起動します。進行状況をグラフで表示した後、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

パスワード 画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［パスワード］を選択します。**



注意

●パスワードの変更をお勧めします
設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください
変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

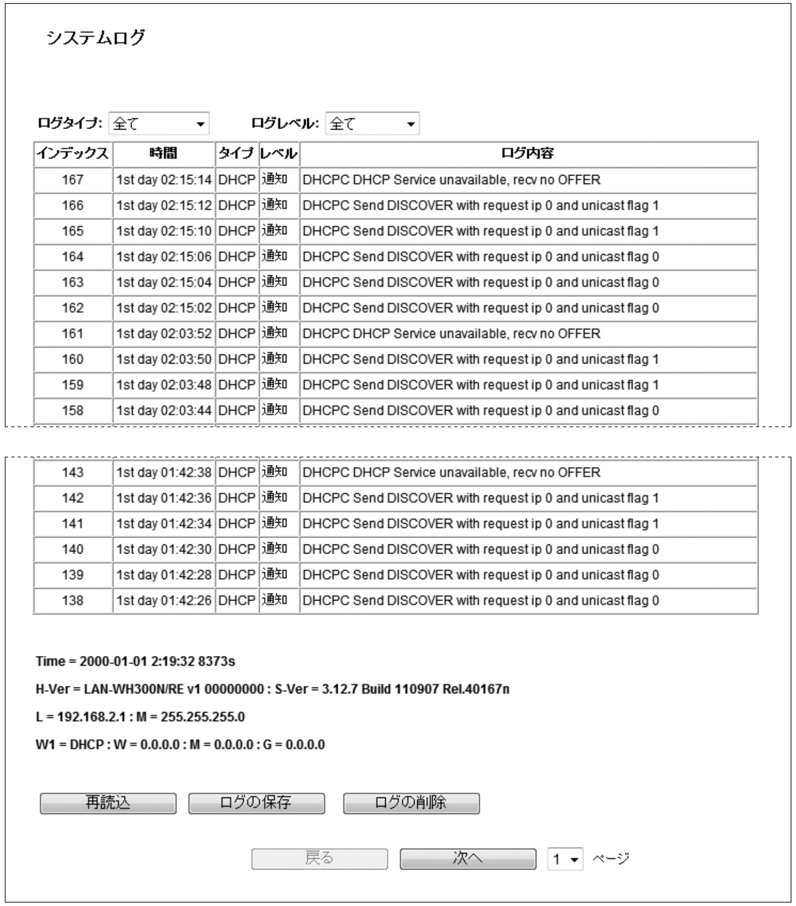
設定の手順

❶［古いユーザー名］に、現在のユーザー名を入力します。
❷［古いパスワード］に、現在のパスワードを入力します。
❸［新しいユーザー名］に、新しく設定するユーザー名を入力します。
❹［新しいパスワード］に、新しく設定するパスワードを入力します。
❺［新パスワードの再入力］に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
❻ 保存 をクリックします。認証画面が表示されます。
❼ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。
・〈ステータス〉画面が表示されます。

システムログ 画面

DHCP、無線、セキュリティなど、各種ログを表示することができます。
ログはテキストファイルとして保存することもできます。

画面の表示 **画面左のメニューリストから［管理ツール］→［システムログ］を選択します。**


システムログ

ログタイプ: 全て　ログレベル: 全て

インデックス	時間	タイプ	レベル	ログ内容
167	1st day 02:15:14	DHCP	通知	DHCPC DHCP Service unavailable, recv no OFFER
166	1st day 02:15:12	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 1
165	1st day 02:15:10	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 1
164	1st day 02:15:06	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0
163	1st day 02:15:04	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0
162	1st day 02:15:02	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0
161	1st day 02:03:52	DHCP	通知	DHCPC DHCP Service unavailable, recv no OFFER
160	1st day 02:03:50	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 1
159	1st day 02:03:48	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 1
158	1st day 02:03:44	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0
143	1st day 01:42:38	DHCP	通知	DHCPC DHCP Service unavailable, recv no OFFER
142	1st day 01:42:36	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 1
141	1st day 01:42:34	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 1
140	1st day 01:42:30	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0
139	1st day 01:42:28	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0
138	1st day 01:42:26	DHCP	通知	DHCPC Send DISCOVER with request ip 0 and unicast flag 0

Time = 2000-01-01 2:19:32 8373s

H-Ver = LAN-WH300N/RE v1 00000000 : S-Ver = 3.12.7 Build 110907 Rel.40167n

L = 192.168.2.1 : M = 255.255.255.0

W1 = DHCP : W = 0.0.0.0 : M = 0.0.0.0 : G = 0.0.0.0

再読込　ログの保存　ログの削除

戻る　次へ　1　ページ

ログタイプ	リストに表示するログのタイプを選択します。
ログレベル	リストに表示するログのレベルを選択します。

●各ボタンの機能

再読込	表示中のログを最新の情報に更新します。
ログの保存	ログをテキストファイルとして保存できます。このボタンをクリックすると、〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、保存先などを指定して、ログを保存します。
ログの削除	本製品上に保存されているログを、すべて消去します。
戻る / 次へ	ページが複数あるとき、ページを移動することができます。
ページ	ページが複数あるとき、指定したページへジャンプすることができます。

統計 画面

LAN上の各パソコンのネットワーク通信状況を表示します。

画面の表示 **画面左のメニューリストから[管理ツール]→[統計]を選択します。**



現在の統計ステータス	現在の統計機能の有効/無効のステータスを表示します。右側のボタンで統計機能の有効/無効を変更できます。（初期値：有効）
パケット統計間隔（5～60）	パケット情報の更新間隔を秒単位で設定します。（初期値：10秒）
自動読込	チェックすると、自動的に情報が更新されます。
並べ替えルール	表をどのように並べ替えるかを、リストから選択することができます。▼ をクリックするとリストが表示されます。

●各ボタンの機能

再読込	手動でページを更新します。
全てリセット	登録したすべての値をリセットします。
全て削除	登録したすべての値を消去します。
戻る/次へ	ページが複数あるとき、ページを移動することができます。

Appendix

付録編

1 こんなときは

本製品に付属の紙版マニュアル「はじめにお読みください」のP3「FAQ」もご参照ください。

無線LAN関係のトラブル

●無線LANがつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②本製品のWPS機能を実行してから2分以内に、無線子機のWPS機能を実行してください。2分を超えるとWPS機能は自動的に終了します。その場合は、再度WPS機能を実行してください。

③入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割りあててください。
TCP/IPのプロパティにある<IPアドレス>タブで設定します。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合　※画面はWindows Vistaの例です。

❶［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：


接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

❹本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P104「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows XP/2000の場合

❶ ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷ 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。

「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

❹ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P104「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字（初期値：100～200のいずれか）です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

3 基本仕様

無線LAN部

規格	IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11n / ARIB STD-T66
周波数帯域	2412～2472MHz（2.4GHz帯）
チャンネル	Auto/1～13ch
伝送方式	11g/n：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n：最大300Mbps 11g：54/48/36/24/12/9/6Mbps 11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ（親機）
アンテナ方式	外付アンテナ2本（送信2本、受信2本、MIIMO方式）
セキュリティ	SSID（ステルス設定可）、マルチSSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）、MACアドレスフィルタリング
設定方式	WPS（ボタン搭載）

WAN/有線LAN部

規格	WAN：IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3x（Flow Control） LAN：IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	WAN：RJ-45×1ポート、LAN：RJ-45×4ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ、その他一般仕様

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット（WAN）接続方式	IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続
LAN接続方式設定	DHCPサーバ（有効/無効）、固定IPアドレス（手動設定）
セキュリティ	MACアドレスフィルタリング（許可/拒否）
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、仮想DMZ
消費電力（定格）	5.04W
外形寸法	幅165×奥行108×高さ28mm（アンテナ除く）
質量	約450g（アンテナ含む）

IEEE802.11n/11g/11b準拠　無線LANブロードバンドルータ　　LAN-WH300N/RE
ユーザーズマニュアル

発行 ロジテック株式会社　　2011年11月11日　第2版